



「努力の壺」から『みんなの努力のびん』へ

校長 百目鬼 弘通

2学期の始業式で「努力の壺」の作文を読み、次のような話をしました。

努力のつぼ 一年 角野 愛

「お母さん、努力のつぼの話、またして。」と、いいよ。今度はなあれ。「逆上がり。」「あらあら、まだいっばいになっていなかったのね。随分大きいねえ。」と言いなながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれたい努力のつぼの話をもたゆくりと始めました。それはこんな話です。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろいろな大きさがあり、人によって、時には大きいものや小さいものや色々な色があります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないです。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」が溢れる時、つぼの大きさが分かるというのです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きまして。その時は、横ばしこの練習をしている時でした。それから、一輪車や鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張ってやっている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。

くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がする。そして、私の「努力」がもう少しで溢れそうに見えるのです。だからまた頑張る気持ちになります。お母さんの言うとおり、今度の逆上がりのつぼは、随分大きいみたいです。逆上がりを始めたら、もう2回もこの話をしてもらいました。でも今度こそ、あと少しで溢れそうなんです。だから、明日からまた頑張ろうと思います。お母さんは「つぼが大きいととても大変だけど、中味がいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」と言ってくれるけど、今度神様にももう時は、もう少し小さいつぼがいいなあと思います。

出典：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選 明治図書

※原文のひらがなの所を漢字に直しました。

努力の壺…「壺の大きさは、人によって違う。壺の大きさは、自分では分からない。壺は消えたり、なくなったりしない。頑張った努力は、間違いなくその壺にたまっていく。あきらめずに、休まずに壺の中に努力を入れていけば、いつか必ずあふれる瞬間が来る。」大切なのは、あきらめずに続けることです。一生懸命の壺の中に努力を入れ続けられれば、いつか必ずできなかったことができる時がくるのです。イチロー選手は、「少しずつの積み重ねでしか、それまでの自分を超えていけない、とっているんです。」と言っています。2学期、みんなで努力することを楽しみましょう。

そのため、「みんなの『努力のびん』」を用意しました。これは、「努力が見える。みんなで努力を積み重ねていく。努力の大きさや重さ、形、色は違う。」「努力したことやがんばったことがあれば、いつでも、いくつでも努力をびんに入れよう。2学期中にみんなの努力をあふれさせよう。」と呼びかけました。毎日少しずつ努力が積み重なっています。



〔ついに9/17にあふれました〕

よく考え、よく学び、そしてよく遊ぶ

これは、2学期、全校で取り組むことのキャッチコピーです。

- 「よく考えること」は、何事も人任せにせず自分で考え、考えたことを自分の言葉で他人に伝えること。
- 「よく学ぶこと」は、学校以外のところでもいろいろな学びがある。友だちからも学ぶことができる。
- 「よく遊ぶこと」でも、遊びの中で友だちのことを考えたり、学んだりすることができる。そして何よりも、楽しく遊ぶことが大事。遊びも一生懸命。

ということを、始業式の「みんなの努力のびん」を話した後に、2学期のみんなに期待することとして話しました。

先日、1年生が「ウサギさんを飼ってもいいですか」と校長室にやって来ました。なぜ、飼いたいのか、ウサギの命を守るためにどんなことをするのかを問いましたが、校長が納得できる回答はありませんでした。そこで、始業式での「よく考え、よく学び、そしてよく遊ぼう」の話を思い出させて、改めてみんなでもよく考えてから来るよう諭しました。後日、1年生は、校長室でウサギを飼うために必要なことをまとめたプレゼンテーションを行いました。その日は時間切れのため校長の態度は保留しました。次回は、ウサギを飼うために一人一人の決意を聞きたいとリクエスト。そして、3回目一人一人が「よく考え」、自分の言葉で決意を表すことができました。その姿、言葉に感動した校長は、もちろんウサギを飼うことを許可しました。



〔休み時間、思い切り遊ぶ〕



〔よく考えた1年生～ただいまプレゼン中〕

プログラミング的思考[※]を育てるプログラミング教育

今年度から小学校に「プログラミング教育」が導入されました。本校では、プログラミングクラブを中心に学習をスタートさせ、クラブでの成果等を教科等に生かそうと取り組んでいるところです。この日は「Ozobot（オゾボット）」という小さなロボットを自分たちで考えたプログラム（マジックの色によっていろいろな動きをさせる）で走らせたり、回したり止め



〔自分たちのプログラム通り動いた！〕

たりしました。Ozobot が自分たちのプログラムで動くことに興味関心をもちながら、プログラミングについて学ぶことができました。

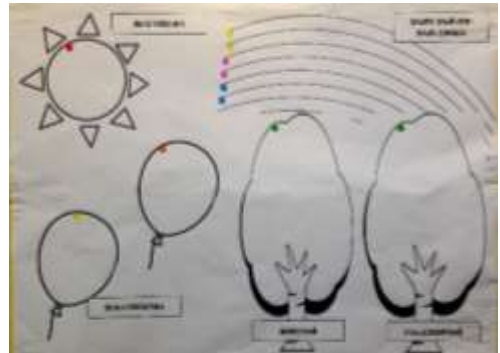
※『プログラミング的思考』とは「論理的に考える力」を意味し、プログラミングは「論理的に考える力」を学ぶ方法の一つといえます。

ハッピー大作戦 ～言葉遣いを見直し、ハッピーになる言葉遣いを～

言葉遣いは心遣いといい、その言葉を発する人柄を現します。言葉によって救われたり、言葉によって傷付けられたりもします。友人関係のトラブルも言葉遣いによるものが多いと感じています。

そこで、「ハッピー大作戦」と称し、言われてうれしい言葉、気持ちよくなる言葉を遣ったり、言われたりしたら台紙にシールを貼る取組をしています。相手のことを思いやった言葉が学校中に響き、

みんながハッピーになりますように…。〔口は人を励ます言葉や感謝を言うために使おう〕



秋の全国交通安全運動 - 9月23日(水)～9月30日(水) -

交通安全運動の期間中、学校職員とPTA 地域部の皆様のご協力をいただき、小学校坂下交差点と中学校上交差点で街頭指導を行います。

安全な自転車の乗り方につきましては、以下の点について学校でも指導しましたが、ご家庭でもお子さんに再度ご確認をお願いいたします。

○自転車安全利用五則

- 1, 自転車は、車道が原則。歩道は例外（13歳未満の子どもは、道路標識に関わらず車道を通行できる）。
- 2, 車道では、左側走行
- 3, 歩道は、歩行者優先で、車道寄りを徐行して走行する。
- 4, 安全ルールを守る。
- 5, 児童は、ヘルメットを着用するのが望ましい。

子どもたちには、常々「自分の命は、自分で守ること」と話しています。

事故に遭わないよう交通安全ルールに則った道路の歩行や自転車の乗り方はもちろんですが、自転車での事故を起こさないよう自転車の整備点検や自転車に乗るとき心のもち方につきましても、ご家庭でご確認いただければ幸いに存じます。

10月の主な予定 (今後変更される場合があります)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 12(月) 小中あいさつ運動 ～19 | 19(月) 体育大会体育館／振替休業日 |
| 13(火) 就学時健康診断 | 22(木) クラブ活動 |
| 17(土) 体育大会 | 29(木) 保育園と1年生交流会 |
| 18(日) 体育大会予備日 | |

今月のことば：「努力の上に辛抱という棒を立てよ」桂小金治

『牧小体育大会』について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、時期や実施方法等、例年とは異なる開催となります。また、感染予防のため、学校、児童、保護者のみの開催とさせていただきます。楽しみにしていたご来賓・地域の皆様におかれましては、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

Sports day.

10/17(土)

■ 開会式 8:45~9:00

- | | | | |
|---|-------------|----|--------------|
| 1 | マーチング | 8 | PTA 種目* |
| 2 | 1・2年 50m走 | 9 | 1・2年 チャンスレース |
| 3 | 3・4年 80m走 | 10 | 3~6年 チャンスレース |
| 4 | 5・6年 100m走 | 11 | 応援合戦 |
| 5 | 1・2年 親子レース* | 12 | 1~3年 下学年リレー |
| 6 | 3~6年 親子レース* | 13 | 4~6年 上学年リレー |
| 7 | 全校 縦割り班種目 | 14 | 牧村民歌* |

※付きは、19日実施の場合、行わない種目

■ 閉会式 12:00~12:20

- 17日(土)が雨天の場合は、18日(日)に実施します。
- 18日(日)が雨天の場合は、19日(月)に晴天時はグラウンド、雨天時は体育館で実施します。
- 延期の場合は、前日に決定しPTAメールを配信します。
- グラウンドで実施する場合は、1家族2名までの来場でお願いいたします。
- 19日に体育館で実施する場合は、6年生の保護者1名のみの来場でお願いいたします。
- ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。
- クラスター発生防止のため、家庭用テントの設置はご遠慮ください。